

各地のブロック長に、ブロックにおける問題・課題やELV機構に対するご意見等を伺ってみました。これまでに回答のあった分をここに掲載し、今後寄せられる回答は次号以降に掲載します。色つき文字がお尋ねした事柄、黒字が回答です。(以下敬称略)

目次:	
ブロック長に聞く	1~2
特別インタビュー	3
東日本大震災関連	3
スクラップ市場	4
編集後記	4

## 東北ブロック 平地 健 / 宮城県中古自動車解体再生部品卸協同組合理事長、ELV機構理事

### Q: 現在解体業者が直面する問題点

- ①雇用の維持と拡大
  - ②新しい仕事づくり
  - ③企業間連携
  - ④技術向上
- 業界の意見集約

### 《ブロックの運営上の課題、問題点など》

#### Q: 至急取り組みが必要と考える事柄

- ①震災地域(岩手、宮城、福島)の被災車両に関する情報の収集意見の集約
- ②調査、移動、保管、管理、排出、処理の工程での業界としての取り組みがなされたかの検証
- ③県、市町村、での取り組みの違いがあり、がれき撤去(被災車両)の進捗状況に著しい差が生じていないかの検証
- ④被災車両の撤去作業に関する、問題点の集約(今後の対応を含めて)と実態の改善

#### ⑤会員数の減少への対応と地域団体の活性化

### Q: 長期的にみて解決しなければならない問題点など

会員さん、地域団体、ブロック会議、ブロック長会議、理事会・常任役員会と順に意見集約を行い、最終的に会員さんからの意見が具現化するような仕組みを構築する

### Q: 会員組織、会員制度等に関するご意見等

様々な問題を整理し、機構としてのスタンス(最大公約数の実現)を議論しながら、全解体業者必然的に加入するような体制の構築と地域団体の活性化を両立させる

### 《これからのビジネスの展望と問題点》

#### Q: 短期的展望と問題点

- ①使用済み自動車の入庫の減少に伴い、競争の激化、仕入れ値の高騰など付加価値の創造
- ②コンプライアンスの徹底
- ③個人ユーザーとの接点づくり

#### Q: 中・長期的展望と問題点

- ・ 企業の連携による新しいビジネスモデルの創造

## 四国ブロック 三木康弘 / 徳島自動車リサイクル(協)

代表理事・ELV機構理事

### Q: 現在解体業者が直面する問題点

- ①国内販売の低迷等による取扱台数の減少傾向に歯止めがかからないこと
- ②過当競争による利益率の縮小
- ③大手シュレッダー事業者の自動車解体業への参入
- ④オークションの隆盛による中古車業界から解体業界への浸食

### 《ブロックの運営上の課題、問題点など》

#### Q: 至急取り組みが必要と考える事柄

(右欄上へ)

ELV会員拡大維持を図ることによって四国ブロックの活性化につなげたい

### Q: 長期的にみて解決しなければならない問題点など

発生台数が減少傾向にある中で、事業者・組合として、業界の生き残りの対応が求められる

### Q: 会員組織、会員制度等に関するご意見等

これまでJAERAは団体単位加入を条件としているが、組織拡充のためには柔軟な対応が必要

### 《これからのビジネスの展望と問題点》

#### Q: 短期的展望と問題点

震災の影響による取扱台数の急減

#### Q: 中・長期的展望と問題点

人口減に伴う中長期的な自動車解体業界の縮小

### Q: ELV機構に望むこと

唯一の全国自動車解体業界団体として、自動車中古部品事業者の立場を守りつつも、業界全体を網羅する団体として自動車リサイクル法とともにある、なくてはならない団体になるとともに国内外ともネットワークを広げ連携する団体となって欲しい。

### その他ご意見

#### Q: jaeraニュースレターに関するご意見、ご要望等

JAERA内部での取り組みを広報する路線をこれまでどおり充実しながら、各地域団体や海外との販路、業界生き残りのそれぞれの工夫などボトムアップに繋がる動きも掲載することが出来たら面白いと思います。 □

## 九州ブロック 辻 隆雄 / 北九州ELV協同組合

ELV機構理事、ブロック長会議長

### Q: 現在解体業者が直面する問題点

- ①入庫車の減少
- ②中古部品販売の不振
- ③運送費の高騰
- ④事業後継者不在

### Q: ブロック運営上の課題・問題点など

九州では、以前よりブロック会議を定期的に行うなどしてきたので、特段の問題、課題はない。

### Q: ELV機構の会員組織、会員制度等に関するご意見

- ①会員組織については各団体長にお任せしており、各団体それぞれで適切に運営している。
- ②九州ブロックにおいても会員の減少傾向は否めず、今後はブロックとして行うビジネスを考えてゆきたい
- ③情報開示のタイミングが遅く、各団体長ならびに会員に迷惑をかけている。ニュースレターなどである程度の情報は流れているが、急な日程の変更等には無理があるため、今後はもう少し余裕を持つての行動が望ましい。
- ④jaeraニュースレターの受信については、九州ブロック会員のメールアドレスは機構本部に送付済みで問題なし □

Q: 現在解体業者が直面する問題点

- ①解体車両の入庫台数の減少
- ②メーカー参入
- ③解体作業の複雑化
- ④許認可の複雑管理(管轄が複数)

《ブロック運営上の課題、問題点など》

Q: 至急取り組みが必要と考える事柄

各県の組合員の議決権格差の是正。各県1票ではなく、各組合員1社につき1票であるべき。

Q: 長期的にみて解決しなければならない問題など

- ①ELV機構本部の運営資金の増大、及び本部の明確な組織化と各セクションにおける専従員の充実が必要
- ②緊急災害時の各諸団体に対する連携等の取り纏めのあり方が必要

Q: 会員組織、会員制度等に関する意見等

ELV機構や類似団体の各講習修了証(フロン・SRS・低電圧など)が無ければ次回の許認可の更新ができないように行政に働きかける。その事によりどこかの機構・団体に所属しなければならないようにし、組織拡大ができればと思う。そして、講習費を徴収しELV機構の運営資金の充実を図ればよいと思う。

(例: 産業廃棄物の更新の際に講習を受けると同様)

《これからのビジネスの展望と問題点》

Q: 短期的展望と問題点

EV車の増加とインフラ整備

Q: 中・長期的展望と問題点

中古車と使用済み自動車との線引き。使用済み自動車と思われる車両が中古車として市場に出回っている。ある程度、線引きをしないと貴重な資源がまるまる海外へ中古車として流出してしまう

Q: ELV機構に望むこと

- ①整備士のようなELV機構公認の解体士なる資格制度を作してほしい
- ②さらに、資格保有者が管理者として会社とともに責任を負うような仕組みを構築して頂きたい
- ③ELV機構自体の存在というか影響力を高めてほしい。 □

Q: 現在解体業者が直面する問題点

- ①仕入れ車両の減少と、それに伴う価格の高騰
- ②業界のまとまりのなさ、それに伴う必要以上の過当競争
- ③業界の大多数を占める零細業者の自然淘汰的な現象(行政的な意図も含む)
- ④業界としての統一した目的、方向性の無さ。

《ブロック運営上の課題、問題点》

Q: 至急取り組みが必要と考える事柄

ブロック運営の基本マニュアルの構築

Q: 長期的にみて解決しなければならない問題点など

問題意識の共有化

Q: 会員組織、会員制度等に関する意見等

- ①各地域団体を基本とするELV機構組織であるが、その基本である地域団体自体が運営の危機に瀕している。
- ②組織構成員としての差別化が進んでいない。

(右欄上へ)

《これからのビジネスの展望と問題点》

Q: 短期的展望と問題点

短期的に見た場合、仕入れ車両絶対数の不足から、経営環境の圧迫が予想される。

Q: 中・長期的展望と問題点

- ①仕入れルートにおける『オークション』の存在が、自動車解体業者の経営環境をより厳しくしていくと考える
- ②『オークション会場は、使用済車両を扱う場所ではありません。』と宣言しておきながら、実際は『お金になれば、何でもやる』的なモラルの無さと、節操の無さばかりが目立っている現状の中で、これらの事実に対して何の策も持たない解体業界の不甲斐無さと、危機感の欠如。『自分さえよければ、業界全体の利益など知ったことではない。』的な考え方の蔓延

Q: ELV機構に望むこと

- ①組織としての有意義な計画の立案と、魅力ある組織作りを皆が真剣に考えるような基盤の整理を望む。(全解体業者が挙って入会を希望する・または入会せざるを得ないような組織
- ②関連団体・行政との連携の窓口となり、各地域団体が、それらの組織と密接な関係を構築できるようにしてほしい。 □

Q: 現在解体業者が直面する問題点

- ①スクラップインセンティブの影響で、使用済み自動車の発生台数が今後減少する。
- ②無許可の整備業者及び中古車販売業者が、部品取り目的で使用済み自動車の保管をしている
- ③引取業の許可取得業者(ちなみに整備業者及び中古車販売業者)が、直接破砕業者に使用済み自動車を持ち込む

《ブロックの運営上の課題、問題点など》

Q: 至急取り組みが必要と考える事柄

- ①沖縄県においては、離島県特殊事情に考慮して沖縄ブロックらしいブロック運営を図るまた、各ブロックの実情に合わせた運用を図り連帯及び組織強化に取り組む
- ②ブロック活動資金の確保

《長期的にみて解決しなければならない問題など》

Q: 会員組織、会員制度等に関するご意見等

- ①新たな組合制度を導入して、柔軟な運用を図り、会員の確保に努める
- ②一部ブロックにおいて、会員加入に対して温度差がある為、全ブロック統一にするべき

Q: ELV機構に望むこと

- ①国、地方行政機関とのパイプ役として機能し、新たな制度や技術的な問題等が発生した場合には、国や関係団体と調整し、リアルタイムで講習会及び勉強会を実施して欲しい。
- ②第2回自り法の見直しが3年後となっている為、見直しに向けて早急にELV会員の意見取り纏め作業に着手し、現在行っている全国講習会の講習修了証が、自り法上の引取業及びフロン回収業また解体業等の業許可要件となる十分な知見を有するものの資格として監督官庁及び地方行政に働きかけて欲しい。 □

暑中お見舞  
申し上げます。

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 事務局一同



### ～特別インタビュー～

このほど刷新されたELV機構のwebサイトの構築をご担当いただいた、(株)システムエンジニアリングの照井文幸さん(写真)からお話を伺いました。委託先選定に際し、ELV機構広報部会では、全国5社からの提案を受け、総合

的な判断の結果、最終的に同社に依頼することになったものです。(聞き手:小宮山敬仁/広報部会、大八商会)

～この度は jaera のHPを作成していただきありがとうございました。最も苦勞された点は？

《照井さん:以下“T”》HPの作成は特に好きな仕事の1つなので、「苦勞」はありませんでした。たまにデザイン中心のお客様に何パターンもの提案を行い、なかなか気に入っていただけないこともあります。今回のデザインは、前サイトのものを引き継ぎましたので、それではありませんでした。

～HPの作成で楽しいと思うことは？

【T】2つあります。1つ目はお客様と企業の未来について話すことができる事です。この不況の時代、何か突破口を開かないと先は無い状況でHPに活路を見いだそうというお客様と一緒に一生懸命考え、お客様とHPを創れる所です。2つ目は、それまで実現できなかったことが叶ってお客様に喜んで頂くことです。一つでもできる事が増えると皆さんに喜んで頂けます。一度で納得頂けるページができることは少なく、お客様と少しずつ調整して、最終的に喜んでいただけた時は楽しいですね。

～御社のサービスをどんな方に利用して欲しいですか？

【T】ご自分の顧客に何かを伝えたいと思っている企業の方に使って頂きたいですね。相談こられるお客様の中に見栄だけを重視する

お客様がいます。いくら見栄えが良くても伝える物が無いと、そのHPにアクセスしても反応する人はいません。私たちの一番重要だと思っている事は、情報を提供し、顧客が行動するきっかけを与えることだと考えています。「HPが欲しいので、とりえず全て任せる」ではなく、自らああしたい、こうしたいという願望があり、それをぶつけて来られるお客様に応じて、その願望を形にするのが私たちの仕事です。

～HPを作成することで、利用者から喜ばれたことは？

【T】「今このHPが無くなったら大変」、「売上の数%はこのHPのおかげ」、「HPを見て電話や問い合わせメールが増えた」などと言われた時は嬉しいですね。

～最後にアピールすることがあれば？

【T】私たちはホームページをつくる際はお客様と二人三脚で仕事をしたいと思っています。コンサルのようにこうすれば売上が上がりますと言うほどスキルも持っていません。しかし、お客様の話を聞き実現する力と、協同で仕事を進めることに関しては他の会社に負けたくないと思っています。お客様が良くなるのが当社の幸せにつながっていると思います。先行きの見えない経済状況ですが、各企業が協力し良い社会づくりに貢献して行きたいと思っています。

～お忙しい中、インタビューのお時間を割いていただきありがとうございました。 □

なお、株式会社 システムエンジニアリングにHPのご相談をされる方はこちらへお問い合わせください。

URL: <http://www.senet.co.jp/>

TEL: 本社019-651-1522

仙台022-723-1533

### ～東日本大震災支援関連～

震災から既に4ヶ月半が経過したが、報道機関のニュースからは、被災地復興が余りはかどっていないような印象を受けます。それだけ激しい被害を被ったということではありますが、原発事故と併せ、天災が人災に転じたとの世の批判もあながち間違っていないと思えます。一方、震災一ヶ月後から開始した被災車両撤去の作業は現在も継続中であり、これまでの実績を合計すると次のような数になります。

＜仙台市依頼分 4.924台＞	
Aヤード	約550台
Bヤード	約3.300台
Cヤード	約1.074台
＜岩沼市依頼分 1.800台＞	
中坪ヤード	約400台
相の釜ヤード	約1.200台
二の倉ヤード	約200台
合計	約6.724台

#### ■現在撤去活動に参加する団体(会社)

- ①宮城県中古自動車解体再生部品卸協同組合
- ②株式会社イマイ自動車

この度、解体業界各団体が参加する被災車両処理対策本部(本部長:栗山義孝ELV機構代表理事)の全体対策会議が、7月26日(火)、仙台市で開催されました。当初より、本取り組みに

参加してきた各団体代表など約20名が参加し、これまでの取り組み報告ならびに、現地自治体との協議結果など今後の進め方につき、盛んな議論が行われました。

翌朝、前日の会議参加者他関係者約40名が、数百台の被災車両がおかれたAヤードに設けられた祭壇を囲み、今回の大震災で亡くなった多くの方々の慰霊祭をしめやかに執り行いました。これは、現地対策本部の方々の強いご意思が実現したもので、関係者一同、復興に向けた更なる取り組みへの覚悟を互いに確認し合うことができました。 □ (ELV機構事務局奥野報告)



祭壇に向かって焼香をする参加者

《編集・発行者》 一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 広報チーム

〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2番2号 一美ビル

Tel: 03-3519-5181

Fax: 03-3597-5171

E-mail: jaera-office2@clock.ocn.ne.jp

URL: <http://www.elv.or.jp/>

## 7月下旬の鉄スクラップ動向

### 韓国向け新規輸出価格が下落 H2が35,000円(FOB)どころ

日本からの韓国向けの鉄スクラップ輸出価格が下落している。商社筋によると、韓国の複数の電炉メーカーが現在、H2に対して1トあたり35,000円(FOB)を提示してきている模様だ。また、「現代製鉄は35,000円以下を打診してきている」(シッパー筋)という。7月初めに36,000円(FOB)どころまで上伸したH2輸出価格はその後、日本国内市況が下落したことや、円高の進行で欧米玉などに比べて割高感が増したことから、下落に転じた。

韓国の電炉メーカーは、世界的に製品安、原料高となっていることを嫌気し、可能な限りの原料価格の引き下げを狙っている。このため、安値のロシア玉を手当てする一方、欧米シッパーに対しても値下げを要求している模様だ。ただ、米シッパーはトルコ向けのほか、中国や東南アジア向けの成約が続いていることもあり、強気の姿勢を維持しているとされる。

また、新断スクラップの新規輸出価格も41,000～41,500円(FOB)となり、ジリ下げの動きとなっている。

### 関東地区 関東地区のスクラップ価格は弱含み様子見で推移

関東地区の鉄スクラップ相場は、弱含み様子見で推移している。電炉筋のウラ値の引き下げが散発し、ジリ安の展開だ。ただ、東京製鉄宇都宮が16日以来、購入価格の改定を行っていない

ため、全体としては弱含みながら様子見の相場推移となっている。関東地区のH2の炉前実勢価格は34,500～35,500円中心、高値36,000円見当、平均は34,600円。湾岸浜値は、H2が34,500円中心、高値35,000円見当。

### 東海地区

メーカー夏季減産と炉休などで消費減、なお下げ局面

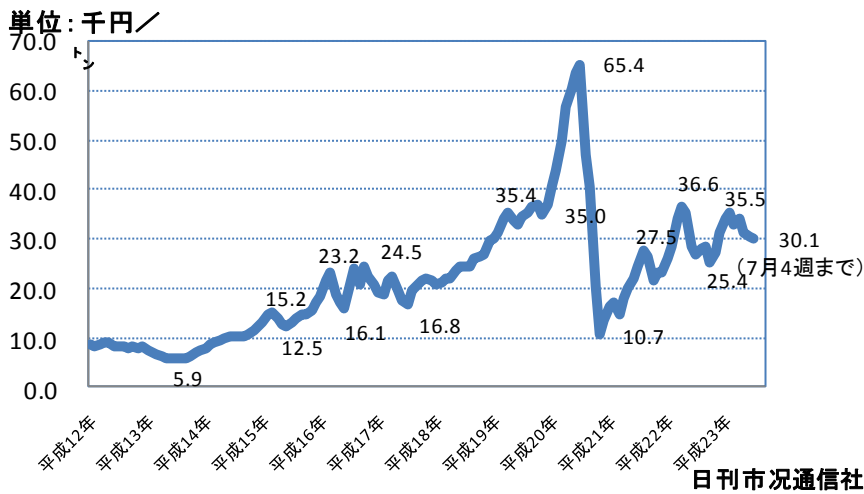
東海地区では、先週後半から新断1,000円、ドライ粉500円の値下げが一巡。ただ大手の半数はこれら以外の品種は据え置いている。このため業者筋の仕切り値もこの2品種にとどまっている。地区内の電炉筋は既に夏季減産下にあること、一部では今週から炉休入りとなるなどでスクラップの消費量は減少している。H2の実勢価格は36,000～36,500円中心、高値37,000円見当で、これでもう2カ月ほど横ばいで推移している。

### 関西地区 鉄スクラップ相場は軟調地合い、需給は緩む公算大

関西地区の鉄スクラップ相場は軟調地合いだ。足元の大阪地区のH2の実勢価格は36,500～37,000円(一部上値37,500円)、姫路地区のH2の実勢価格は36,500～37,000円となっている。16日から22日にかけて値下げするメーカーが相次ぎ、その後もさらに下押しする気配が強い。大阪電炉の中には、7月23日以降順次、製鋼休みに入るところがあるため、鉄スクラップ需給が緩む公算が大きいことが軟調気配の主な要因だ。 □

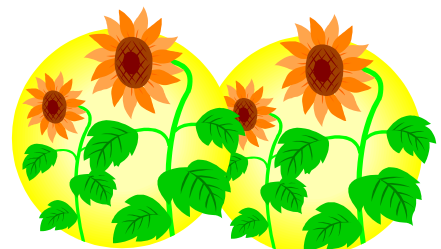
(※各地の価格動向は7月25日夕方時点のもの)

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



7月下旬(25日)の国内スクラップ市中実勢価格

		H2	気配
関東	北関東	34,500 ~ 36,000	軟調ジリ安
	南関東	34,500 ~ 36,000	軟調ジリ安
名古屋		36,000 ~ 37,000	下げ含み
関西	大阪	36,500 ~ 37,500	値下がり
	姫路	36,500 ~ 37,000	弱保合い



### 《編集後記》

- ◇ いよいよ本格的夏の到来。既にあちらこちらから、観測史上最高気温の報が伝えられる。毎朝、複数のテレビ局が熱中症対策を取り上げていた。水分と塩分。この二つがキーらしい。皆様くれぐれもお気をつけて。
- ◇ 中国の新幹線で事故発生。導入に際して各国よりの売り込みの過熱、技術の移転問題と知的所有権の保護に関する騒動など、数々のニュースを残して走り始めたが今回の事故。一方、1964年開業の東海道新幹線ではこれまでさしたる事故は聞かない。数分おきに高速で走る車両を制御する技術は本当に世界に誇れるものだ。最高速だけを競い合うような風潮には参加しないほしい。ちなみに、フランスが誇るTGVの場合、パリとリヨン線は一時間に一本、パリとロンヌ(モンサンミッシェルの最寄り駅)間は30分に一本。せいぜいこの程度である。
- ◇ 以前から問題となっていた、車両の解体・破碎時における発炎筒の適正処理に関する議論が本格化してきた。現在、地域毎にまちまちの対応となっており、破碎業者からの要請に基づいて解体時に取り外しているケースもあれば、全く処理もせずに廃車ガラと共に破碎に持ち込むケース、様々である。問題の発端は、シュレッダー処理中に「火災」が発生する恐れがあるとの破碎業者からのクレーム。結局のところ、解体業者が取り外すことになる可能性が高いが、その後の行き先、適正処理の主体者などが不明瞭。当事者である、発炎筒メーカーの迅速な対応が望まれる。
- ◇ 春先の大震災発生により頓挫した「企業連携による資源循環の促進」への取り組みが再開される。各地各様の取り組みがあるようですが、その先端を切って8月末に広島で関係者によるセミナーが開催される予定。情報あり次第報告します。(編集者)